

(案)

札幌市民の方向け がん対策に関するアンケート調査票

札幌市では、平成 26 年 3 月に策定した「札幌市健康づくり基本計画～健康さっぽろ 21（第二次）」に基き、総合的ながん対策の取り組みの検討を進めております。

本調査は、その検討にあたって市民の皆様のがんに対する意識についてお聞きするために札幌市が実施するものです。今後の札幌市におけるがん対策の取り組み検討の基礎資料となる非常に重要な調査です。

つきましては、ご多忙中とは存じますが、なにとぞご協力をお願いいたします。

◎調査の対象者

- ・札幌市内にお住まいの男性 40 歳以上、女性 20 歳以上の方。
- ・札幌市の住民基本台帳記載の情報に基き、対象者を無作為抽出してお送りしています。

◎ご回答にあたって

- ・原則として、封筒の宛名の方がご記入ください（宛名の方が、ご記入が難しい場合は、お手数ですが、ご家族の方などが聞き書きいただければと思います）。
- ・ご回答は、選択肢の場合は当てはまる番号を○（マル）で囲んでください。なお、一部回答欄に当てはまる番号を記入いただく設問もございます。
- ・（括弧）または下線で示す部分には具体的内容をご記入ください。
- ・調査票へのご回答は統計的に処理するため、個人が特定される形で公表されたり情報が漏洩することは一切ございません。どうぞありのままをお答えくださいますようお願いいたします。
- ・調査票は平成 27 年〇月〇日（〇）までに同封の返信用封筒にて返信願います。
- ・なお、このアンケートは、ウェブフォーム、メール、FAX でご回答いただくことも可能です。
- ウェブフォーム、メールでのご回答については、<http://goo.gl/〇〇〇〇>、または下の QR コードに、PC、スマートフォンからアクセスしてください。
- FAX での返信は 011-000-0000 をお願いいたします。

◎お問い合わせ先

札幌市コールセンター

電話：011-222-4894 ※年中無休：8 時 00 分～21 時 00 分



この調査票は両面印刷になっています
次のページ（裏面）からアンケートが始まります

問1 まず、あなたのことについてお答えください。(いずれも○は1つだけ)

(1)性別	1. 男性 2. 女性
(2)年齢	_____ 歳
(3)居住区	1. 中央区 2. 北区 3. 東区 4. 白石区 5. 厚別区 6. 豊平区 7. 清田区 8. 南区 9. 西区 10. 手稲区
(4)職業	1. 経営者・役員 2. 会社員(正社員) 3. 派遣職員 4. パート・アルバイト 5. 自営業 6. 自由業 7. 専業主婦・主夫 8. 学生 9. 家事手伝い 10. 無職 11. その他()
(5)業種	1. 農林漁業 2. 建設業関係(設計、建築、土木) 3. 製造業(工業系) 4. 製造業(食品系) 5. 電力・ガス・水道関係 6. コンピュータ・情報通信関係 7. マスコミ・出版関係 8. 交通・運輸関係 9. 商業・販売関係 10. 金融・保険関係 11. 学術・研究関係 12. 宿泊・ホテル関係 13. 飲食業関係 14. 理容・美容関係 15. 旅行関係 16. スポーツ関係 17. 教育・保育関係 18. 医療・福祉関係 19. 公務員(行政職員) 20. 団体職員 21. その他()
(6)世帯構成	1. 一人暮らし 2. 自身と配偶者(夫婦のみ) 3. 自身と配偶者と子ども(夫婦と子) 4. 自身と子ども 5. 自身と親(親と同居) 6. 自身と配偶者と親(夫婦が親と同居) 7. 三世同居 8. その他()
(7)世帯年収	1. 200万円未満 2. 200万円台 3. 300万円台 4. 400万円台 5. 500万円台 6. 600万円台 7. 700万円台 8. 800万円台 9. 900万円台 10. 1,000万円以上

問2 あなたやあなたの親しい人でがんにかかった人はいますか。(○はいくつでも)。

1. あなたご自身 2. ご家族 3. 親戚 4. 親しい友人・知人
5. その他()
6. いない 7. わからない

がんに関するご認識についてお聞きします。

問3 がんについてどう思いますか。(○は1つだけ)

1. とても怖い
2. どちらかと言えば怖い
3. どちらかと言えば怖くない 4. 怖くない
5. どちらとも言えない
- 問4へ
- 問5へ

問4 【問3で「1. とても怖い」「2. どちらかと言えば怖い」に○をつけた方のみお答えください】

がんが怖い理由を挙げてください。(○はいくつでも)

1. 死亡する可能性が大きいから
2. がんや治療の過程で体のつらさがあるから
3. 後遺症が残るから
4. 治療の過程などで頭髪が抜けたり外見が変わってしまうことがあるから
5. 治っても再発・転移の可能性があるから
6. 治療費が高額になるから
7. 仕事を長期間休んだり辞めなければならないから
8. 家族に大きな負担をかけることになるから
9. その他 ()

問5 がんについて次のことを知っていましたか。知っていたことに○をつけてください。(○はいくつでも)

1. がんは日本人の死亡原因の1位である
2. 日本の死亡者の3人に1人ががんで死亡している
3. 日本ではおおよそ2人に1人が将来がんにかかると推測されている
4. 多くのがんは進行するまでほとんど自覚症状があらわれない
5. がんは検診などにより早期に発見することが可能である
6. がんは早期に発見・治療した場合、約9割が完治する
7. 現在、がんで入院する場合の平均入院日数はおおよそ20日以内である
8. がんは、入院治療後は定期的に通院しながら治療・療養する場合がほとんどである
9. (がんに限らず)治療の支払額が一定額を超えると超過分が支給される高額療養費制度がある
10. 喫煙はさまざまながんの原因となる
11. 受動喫煙(他人が吸うタバコの煙を吸うこと)もさまざまながんの原因となる
12. 過度の飲酒はさまざまながんの原因となる
13. 肥満は、特に閉経後の女性にとって乳がんの原因となる
14. B型肝炎ウイルス(HBV)、C型肝炎ウイルス(HCV)への感染は肝臓がんの原因となる
15. ピロリ菌への感染は胃がんの原因となる
16. ヒトパピロマーウイルス(HPV)への感染は子宮頸がんの原因となる

がんの予防についてお聞きします。

問6 以下に挙げるものはいずれもがんの予防につながることを科学的に明らかになっている行動です。がんの予防につながると知っていたことに○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 喫煙をしないこと(禁煙)
2. 受動喫煙※を避けること
3. 過度な飲酒を控えること
4. バランスのとれた食生活を送ること
5. 塩辛い食品をなるべく控えること
6. 野菜や果物を多めにとること
7. 適度な運動をこころがけること
8. 適切な体重を維持すること(肥満を避けること)
9. 定期的ながん検診を受けること

※受動喫煙とは他人が吸ったタバコの煙を吸うことです。

問7 がんの予防のために現在行っていることに○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 喫煙をしないこと(禁煙)
2. 受動喫煙を避けること
3. 過度な飲酒を控えること
4. バランスのとれた食生活を送ること
5. 塩辛い食品をなるべく控えること
6. 野菜や果物を多めにとること
7. 適度な運動をこころがけること
8. 適切な体重を維持すること(肥満を避けること)
9. 定期的ながん検診を受けること
10. その他()
11. がんの予防のために行っていることはない

問8 がんの予防のために今後(も)取り組みたいと思うものに○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 喫煙をしないこと(禁煙)
2. 受動喫煙を避けること
3. 過度な飲酒を控えること
4. バランスのとれた食生活を送ること
5. 塩辛い食品をなるべく控えること
6. 野菜や果物を多めにとること
7. 適度な運動をこころがけること
8. 適切な体重を維持すること(肥満を避けること)
9. 定期的ながん検診を受けること
10. その他()
11. がんの予防のために行いたいことはない

喫煙をしている方、喫煙をしていた方にお聞きします。(喫煙をしたことがない方は問10へ)

問9 喫煙をしている方、喫煙をしていた方は。以下の質問にお答えください。

① あなたは現在喫煙をしていますか？

- 1 喫煙している
- 2 禁煙した

② あなたは、どういうことがたばこをやめるきっかけになる(きっかけになった)と思いますか？
次のうちから、あてはまる番号に○をつけてください。(いくつでも)

- 1 自分の意志
- 2 家族や友人の協力
- 3 医者や看護婦、保健婦などの継続的な指導や支え
- 4 一緒に禁煙する仲間
- 5 具体的な禁煙方法がわかるパンフレットや手引き
- 6 保険診療による禁煙外来
- 7 禁煙手当の支給
- 8 禁煙外来の助成
- 9 禁煙講習会
- 10 定期健診時の指導
- 11 その他()

③ 最もきっかけになると思うこと(きっかけになったこと)を1つ選んで番号を下の枠に書いてください。

健康診断やがん検診等についてお聞きします。

問 10 最近、健康診断を受けましたか。(○はそれぞれ1つだけ)

- 1. 1年以内に受診した
 - 2. 2年以内に受診した
 - 3. ここ2年間は受けていない
- } → 問 11 へ
- 問 12 へ

問 11 【問 10 で「1～2年以内に受診した」と回答した方にお聞きします】

受けた健康診断は次のうちどれですか。(○は1つだけ)

- 1. 職場で実施する定期健康診断
- 2. 職場で実施する人間ドック
- 3. 学校で実施する定期健康診断
- 4. とくとか健診(札幌市国民健康保健による特定健診。40～74歳対象)
- 5. 後期高齢者健診(75歳以上対象)
- 6. 上記以外の健康診断・人間ドック
- 7. その他 ()

問 12 下記の検診・検査を受診したことがありますか。(○はそれぞれ1つだけ)

	1年以内に受診した	2年以内に受診した	受診したことがあるが、 ここ2年間は受けていない	受診したことはない	受診したかどうか覚えて いない・わからない
(1)大腸がん検診(検便など)	1	2	3	4	5
(2)胃がん検診 (バリウム検査、内視鏡検査)	1	2	3	4	5
(3)ピロリ菌抗体検査	1	2	3	4	5
(4)肺がん検診 (胸部レントゲン・血液検査)	1	2	3	4	5
(5)子宮頸がん検診(細胞診) 【女性のみお答えください】	1	2	3	4	5
(6)乳がん検診(触診、マンモグラフィ) 【女性のみお答えください】	1	2	3	4	5

○をつけたものについて問
13にご回答ください

○をつけたものについて問
14にご回答ください

問 15 札幌市では「がん検診無料クーポン券事業」として、特定の年齢でがん検診の費用が無料になる以下のクーポン券をご自宅に送付する事業を行っています。これらのクーポン券を使用したことはありますか。また、知っていましたか。（○はそれぞれ1つだけ）

	る 使 用 し た こ と が あ る	無 料 ク ー ポ ン 券 を 知 っ て い た	使 用 し た こ と は な い が 、 あ る こ と は な い	か っ た あ る こ と を 知 ら な い	無 料 ク ー ポ ン 券 が あ る こ と を 知 ら な い
(1)子宮頸がん検診無料クーポン券 (対象：20歳以上の特定年齢の女性)	1	2	3		
(2)乳がん検診無料クーポン券 (対象：40歳以上の特定年齢の女性)	1	2	3		
(3)大腸がん検診無料クーポン券 (対象：40歳以上の特定年齢の男女)	1	2	3		

問 16 がん検診についてどのように取り組みたいと思いますか。（○は1つだけ）

1. 追加の費用がかかっても受診したい・受診している
2. 追加の費用がかからなければ受診したい
3. できればあまり受診したくない
4. 受診しない

ピロリ菌※検査・ピロリ菌除去に関するご意向についてお聞きします。

※ピロリ菌は胃の中に生息する胃がんや胃炎、胃潰瘍等の原因菌です。この菌を除去すれば、胃の疾病にかかる可能性が大幅に下がることが確実であるとされています。

問 17 あなたはピロリ菌の有無を調べる検査を受診したいですか。（○は1つだけ）

1. 追加の費用がかかっても受診したい・受診している
2. 追加の費用がかからなければ受診したい
3. できればあまり受診したくない
4. 受診しない

問 18 ピロリ菌検査の結果、陽性であればピロリ菌を除去する治療を受けたいですか。なお、ピロリ菌の除去は服薬によるものが一般的です。（○は1つだけ）

1. 健康保険の適用外であっても治療したい
2. 健康保険の適用内であれば治療したい
3. できればあまり治療を受けたくない
4. 治療を受けない。

問 19 ご家族の方にピロリ菌の検査・除去を勧めたいですか。（○は1つだけ）

1. 健康保険の適用外であっても検査・除去を勧めたい
2. 補助があったり、健康保険の適用内であれば検査・除去を勧めたい
3. 検査・除去を勧めたいとは思わない

がんに関する情報の入手についてお聞きします。

問 20 がんやがんの予防に関する情報を何から得ていますか。（〇はいくつでも）

1. テレビ・ラジオ・新聞などのマスメディア
2. 雑誌・専門誌・単行本などの出版物
3. 医師・看護師など医療関係者
4. 医療機関などにある相談窓口
5. ケアマネジャー・ヘルパーなど介護関係者
6. 薬局・薬剤師
7. 保健所・保健センター
8. 家族・友人・知人（上記以外）
9. 「広報さっぽろ」や、札幌市などの行政機関が発行するパンフレット
10. 医療機関・介護施設・薬局などに設置されているパンフレット
11. インターネットで都度情報を検索する
12. インターネット上の医療等に関する特定のウェブサイト
（具体的に _____)
13. その他 (_____)
14. 特に情報は得ていない

問 21 がんに関して、どのような情報が知りたいですか。（〇はいくつでも）

1. がんの予防方法
2. がん検診の種類や受診方法
3. がん検診無料クーポンの入手条件・使い方
4. がんに関する相談窓口
5. がんの治療方法
6. がんの治療にかかる費用
7. がん治療の副作用・副作用への対処法
8. がんにかかっても働き続けるための方法
9. がん治療の体験記
10. 自宅療養の方法
11. セカンドオピニオンの受け方
12. その他 (_____)
13. 特に知りたい情報はない

問 22 札幌市では今年度の 10 月に「がん検診受診促進キャンペーン」を行いました。次のうちで知っていたこと、見たことのあるものに〇をつけてください。（〇はいくつでも）

1. 札幌市が「がん検診受診促進キャンペーン」を行っていたこと
2. 「がん検診受診促進キャンペーン」のテレビ CM
3. がん検診のマスコットキャラクター「けんしんけん」
（※右のイラスト）
4. いずれも知らなかった・見たことがなかった



がんに関する相談先についてお聞きします。

問 23 あなたやあなたの家族について、がんやがんの恐れ、予防や治療方法等について誰かに相談したことはありますか。また、相談したことがあれば誰に相談したかお答えください。（〇はいくつでも）

0. 相談したことがある

- 1. 医師・看護師など医療関係者
- 2. 医療機関などにある相談窓口
- 3. ケアマネジャー・ヘルパーなど介護関係者
- 4. 薬局・薬剤師
- 5. 家族・友人・知人（上記以外）
- 6. 保健所・保健センター
- 7. インターネットで相談（具体的に）
- 8. その他（）
- 9. 相談したことはない

問 24 今後、がんやがんの予防、治療方法等について相談することがあれば、誰に相談したいと思いますか。（〇はいくつでも）

- 1. 医師・看護師など医療関係者
- 2. 医療機関などにある相談窓口
- 3. ケアマネジャー・ヘルパーなど介護関係者
- 4. 薬局・薬剤師
- 5. 家族・友人・知人（上記以外）
- 6. 保健所・保健センター
- 7. インターネットで相談（具体的に）
- 8. その他（）
- 9. 誰にも相談したいと思わない

問 25 「がん相談支援センター」についてご存知でしたか。（〇は1つだけ）

※がん相談支援センターは「がん診療連携拠点病院」に指定されている病院に設置されている相談窓口です。がんのことであれば、がん患者・家族に限らず、どなたでも無料で相談できます。

- 1. 知っていた・利用したことがある
- 2. 概略は知っていた・利用したことはない
- 3. 名前だけは知っていた・利用したことはない
- 4. 知らなかった

がんの入院治療後の療養※についてお聞きします。

※現在、がんにかかった場合の平均入院日数はおおよそ 20 日以内です。退院後は定期的に通院しながら在宅で治療・療養する場合がほとんどです。

問 26 ご自身ががんにかかった場合、どこで療養したいと思いますか。（○は 1 つだけ）

1. 自宅 2. 大きな総合病院 3. 近隣の病院・診療所
4. 介護施設 5. その他（ ）

問 27 がんにかかったご自身が自宅で療養することを考えた場合、不安に思うことはありますか。当てはまるものをすべて挙げてください。（○はいくつでも）

1. 何かあったときに医師にすぐに診てもらえないこと
2. 同居する家族に負担をかけてしまうこと
3. 自宅療養にかかる費用
4. 一人暮らしまたは家族が留守がちで付き添ってくれる人がいないこと
5. 家事ができなくなること
6. その他（ ）
7. 特に不安に思うことはない

問 28 同居するご家族ががんにかかった場合、どこで療養させたいと思いますか。（○は 1 つだけ）

1. 自宅 2. 大きな総合病院 3. 近隣の病院・診療所
4. 介護施設 5. その他（ ）

問 29 がんにかかったご家族が自宅で療養することを考えた場合、不安に思うことはありますか。当てはまるものをすべて挙げてください。（○はいくつでも）

1. 何かあったときに医師にすぐに診てもらえないこと
2. 家族を介護する手間・負担がかかること
3. 家族の介護で自分の仕事等に支障が出ること
4. 自宅療養にかかる費用
5. 家族になかなか会いに行けないこと（家族と同居していない場合など）
6. 自分がすべき家事が増えること
7. その他（ ）
8. 特に不安に思うことはない

問 30 「がんの緩和ケア」へのご認識についてお聞きします。次の中から知っていたものに○をつけてください。（○はいくつでも）

1. 「緩和ケア」とは病気の末期（死期近く）に受ける医療のみを指すのではなく、罹病の期間を通じて体や心の痛み・辛さを和らげることを指す
2. 「がんの緩和ケア」は、治療前・中・後を通じより良い生活を送ることができるよう、がんと診断されたときから必要
3. 「緩和ケア」は、患者だけではなく、患者に接する家族に対しても必要
4. がんによる痛み・苦しみをコントロールするために「医療用麻薬」が使われている
5. 日本は欧米先進諸国と比較し医療用麻薬の消費量（投薬量）が著しく少ない
6. どれも知らなかった

がんにかかった際の就労継続についてお聞きします。

問 31 あなたはがんにかかっても働きたいと思えますか。がんにかかったことのある方はがんであることが判明した際、働きたかったか否かお答えください。(○は1つだけ)

1. 働きたい／働きたかった
2. 働きたくない／働きたくなかった
3. すでに退職している／働いていなかった

問 32 あなたの職場はがんにかかっても働き続けられる職場だと思いますか。がんにかかったことのある方はがんが判明した際の職場についてお答えください。(○は1つだけ)

1. 働き続けられる職場だと思う・実際に働き続けている人がいる → 問 32 へ
2. 働き続けられる職場だと思う・がんにかかった人はいないがそう思う
3. 働き続けるのは難しいと思う → 問 33 へ
4. わからない
5. 現在働いていない／がんが判明したときには働いていなかった

問 33 【問 32 で「1. 働き続けられる職場だと思う・実際に働き続けている人がいる」と回答された方にお聞きします】

差し支えなければ、職場の事業所名と連絡先電話番号をお教えてください。当該事業所の許可も得た上で、がん患者の継続就労に取り組んでいる事例として参考にさせていただきたいと思えます。

(1) 事業所名 (企業名・支店名など)	
(2) 連絡先電話番号	

問 34 【問 32 で「4. 働き続けるのは難しいと思う」と回答した方にお聞きします】

働き続けるのが難しいと思う理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. がん患者には難しい・きつい業務内容だから
2. がん等の治療の際に利用できるような勤務制度・仕組みがないから
3. 長時間勤務や残業が必要な職場だから
4. 治療・通院のために休むことが難しいから
5. 仕事を代わってくれる人がいないから・頼みにくいから
6. 同僚等に負担・迷惑がかかるから
7. 治療と仕事の両立が体力的に難しいから
8. 治療と仕事の両立が精神的に難しいから
9. 治療に専念したいから
10. 病人が働き続けることが難しい雰囲気があるから
11. 休むと職場での評価が下がるから
12. 休むと収入が減るから
13. その他 ()

問 35 最後に、がんの予防や啓発、その他の取り組みに関するアイデアやご意見がございましたらお書きください。

アンケートはこれで終了です。ご協力ありがとうございました
調査票は平成 27 年〇月〇日までにご返送ください